

平成20年度 医学科：臨床系

1. 科目の要約

1) 授業科目名：系統病理学

2) 対象学生：系統講義，実習：M2

3) 担当責任教官名：

深山正久（病理学講座・人体病理学・病理診断学分野 内線 23343, 23344）

<http://pathol.umin.ac.jp/>

4) 授業の目標：

全身の各臓器の病理学について学習する。臨床医学の習得・知識の整理に役立つことを第一の目標とするが、臓器・組織の病理形態像を通して、各臓器の特殊性や病変の成り立ちについて理解を深める。

5) 授業の概要：

M2 学年に対する系統病理学 19 回（50 分授業 2 単位/回），実習 19 回（50 分授業 3 単位/回）。講義・実習は臨床医学の系統講義になるべく歩調を合わせて行うように組んである。

●成績の評価法：

講義終了時にミニテストを予告なく、行う。実習、講義の出席は成績評価に含める。

従来どおり、講義、実習終了後の試験は投影スライドを用いた多肢選択試験，ならびに基本的病理学用語に関する筆記試験を組み合わせて行う。

また、卒業試験時に系統病理学の筆記試験を行う。過去問は <http://pathol/umin.ac.jp> に掲載してある。

●学習の方法：

病理学の授業には基礎から臨床医学への橋渡しの役割があり、疾患の成り立ちについて、構造と機能の異常という観点から学ぶ。実習においては、顕微鏡による組織切片の観察とともに、なるべく病気におかされた臓器を提示し、病気によって改変される臓器の具体的な姿を示したい。

実習に使用するスライドは、一定期間ヴァーチャルスライドとして、<http://pathol/umin.ac.jp>より閲覧できる。

6) 参考書，アトラス：

1) 組織病理アトラス（第5版）：小池盛夫，恒吉正澄，深山正久，森永正二郎 編集，文光堂，2005

2) 病理コア画像 (<http://jsp.umin.ac.jp/corepictures2007/index.html>)：病理学会教育委員会編

3) ルービン病理学（第4版訳）：鈴木利光，中村栄男，深山正久，山川光徳，吉野正監訳，西村書店，2007

4) 標準病理学（第3版）：秦順一 監修，医学書院，2006

5) Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease (7th ed.) Kumar V, Abbas AK, Fausto N (eds.), W.B. Saunders, 2004

6) Rubin's Pathology (4th edition): Rubin E, Gorstein F, Rubin R, Schwartz R, Strayer D (eds.), Lippincott Williams & Wilkins, 2004

9) Anderson's Pathology (10th edition) : Damjanov I and Linder J (eds.), Mosby, 1996

2. 授業計画

平成20年度M2系統病理学講義日程表

4・5時限（13:00～14:50）

本館小講堂

	月日	科目	講師
1	4月22日(火)	循環器	深山
2	5月13日(火)	腎臓	宇於崎
3	5月20日(火)	内分泌・代謝	大橋（虎ノ門病院）
4	5月27日(火)	神経	村山（都老人研）
5	6月3日(火)	脳外科	柴原
6	6月10日(火)	呼吸器	深山
7	6月17日(火)	運動器	宇於崎
8	6月24日(火)	肝臓	福里（帝京大学）
9	9月16日(火)	婦人科	高澤
10	9月30日(火)	小児	田中（帝京大学）
11	10月7日(火)	血液・リンパ節	太田
12	10月28日(火)	軟部腫瘍	深山
13	11月4日(火)	耳鼻科・食道	大橋（虎ノ門病院）
14	11月11日(火)	眼科領域	小幡（自治医科大学眼科）
15	11月18日(火)	画像診断と病理	森（三井記念病院）
16	11月25日(火)	皮膚科	高澤
17	12月2日(火)	泌尿器	太田
18	12月9日(火)	消化管	福嶋
19	1月13日(火)	胆・膵	福嶋

平成20年度M2系統病理学実習日程表

4 - 6時限 (13:00 - 15:50)

本館小講堂にて説明後, 本館総合実習室にて実習.

	月日	科目	担当
1	4月24日(木)	循環器	牛久
2	5月15日(木)	腎臓	仲矢
3	5月22日(木)	内分泌・代謝	仲矢
4	5月29日(木)	神経	柴原
5	6月5日(木)	脳外科	石川
6	6月12日(木)	呼吸器	石川
7	6月19日(木)	運動器	牛久
8	6月26日(木)	肝臓	牛久
9	9月18日(木)	婦人科	日野
10	10月2日(木)	小児	日野
11	10月9日(木)	血液・リンパ節	森川
12	10月30日(木)	軟部腫瘍	菊地
13	11月6日(木)	耳鼻科・食道	菊地
14	11月13日(木)	眼科領域	柴原
15	11月20日(木)	乳腺	坂谷
16	11月27日(木)	皮膚科	森川
17	12月4日(木)	泌尿器	森川
18	12月11日(木)	消化管	坂谷
19	1月15日(木)	胆・膵	坂谷

授業内容の概要

【 M 2 系 統 病 理 学 講 義 】

●【 循環器 】 深山 正久／平成20年4月22日（火）

目標：循環器疾患の病理形態学的側面について整理し、代表的疾患では時間的経過を含め病理を説明できる。

キーワード：

1. 心疾患：心血管奇形，心肥大，心筋症，心筋梗塞，心筋炎，リウマチ熱，心内膜炎，弁膜症，心外膜炎，腫瘍
2. 血管：動脈硬化症，動脈瘤，解離性動脈瘤，血管炎（高安幹動脈炎，結節性多発動脈炎，川崎病，バージャー病，ウェゲナー肉芽腫症，Churg-Strauss 症候群，過敏性血管炎）

●【 腎臓 】 宇於崎 宏／平成20年5月13日（火）

糸球体腎炎を中心にして下記の非腫瘍性疾患を理解する。

- A. 腎臓の構造的特徴
- B. 原発性の糸球体病変：微小変化群，巣状糸球体硬化症，膜性腎炎，膜性増殖性腎炎，管内増殖性腎炎，メザンギウム増殖性腎炎，半月体形成性腎炎
- C. 全身疾患に伴う糸球体病変：IgA 腎症，紫斑病性腎炎，ループス腎炎，糖尿病性糸球体硬化症，アミロイド腎
- D. 尿細管間質病変：急性尿細管壊死，間質性腎炎，腎盂腎炎
- E. 血管性病変：腎硬化症，DIC，ANCA 関連血管炎，Wegener 肉芽腫症

●【 内分泌・代謝 】 大橋 健一／平成20年5月20日（火）

下垂体，甲状腺，副甲状腺，副腎などの内分泌臓器におけるおもに腫瘍性疾患、糖尿病など代謝性疾患の病理像について解説する。

- A. 内分泌腫瘍の特徴
- B. 下垂体疾患—腺腫
- C. 甲状腺疾患—癌，腺腫，腫瘍様病変，炎症性疾患
- D. 副甲状腺疾患—腺腫，過形成
- E. 副腎疾患—腺腫，過形成，癌，褐色細胞腫
- F. 膵臓ランゲルハンス島疾患—腫瘍，糖尿病
- G. 多発性内分泌腫瘍症について
- I. 糖尿病の病理

●【 神経 】 村山 繁雄／平成20年5月27日（火）

実習と連動し，ヒト神経系の病理の概要を提示します（下線は実習呈示疾患）

総論：神経系のヒエラルキー： 大脳>小脳>脳幹>脊髄>末梢神経>筋

ヒト中枢神経系の多様性を解明する手段としての、動的パワー神経病理（臨床・画像・病理関連と、縦断的・横断的アプローチ）

各論：

1. 脳血管障害： 脳梗塞：血栓・塞栓・ラクナ梗塞、小血管病変
脳出血：脳内出血，くも膜下出血(動脈瘤破裂)
2. 変性疾患：遺伝性、Huntington 病；非遺伝性：筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症
3. 老化・認知症性疾患：Parkinson 病，Alzheimer 病、Pick 病
4. 脱髄疾患：中枢、多発性硬化症；末梢：Guillain- Barre 症候群
5. プリオン病：Cruetzfeldt-Jakob 病 (CJD) (遺伝性、孤発性、医原性)
6. 栄養障害：ビタミン B1 欠乏：脚気、Wernicke 脳症
(残りは項目のみ記載=他セクションあるいは他科の系統講義でカバー：外傷(脳挫傷，硬膜下血腫)
[脳外科]；感染症：髄膜炎，脳炎：細菌，真菌，ウイルス[感染症]；代謝疾患[小児科]；脊椎・脊髄疾患 [整形外科]；末梢神経疾患(遺伝性ニューロパチー，多発性神経炎)[神経内科]；筋疾患(筋ジストロフィー症，筋炎)[神経内科])

●【 脳外科 】柴原 純二／平成20年6月3日(火)

目標：脳外科の対象となる疾患の病理について整理し，代表的疾患の形態像を説明できる。

キーワード：

1. 脳腫瘍：神経上皮性腫瘍(星細胞腫，退形成性星細胞腫，膠芽腫，乏突起膠腫，上衣腫，神経節膠腫，髄芽腫)，髄膜腫，神経線維腫，神経鞘腫，胚細胞性腫瘍，頭蓋咽頭腫，悪性リンパ腫
2. 頭部外傷：急性硬膜外血腫，急性硬膜下血腫，慢性硬膜下血腫，脳挫傷，びまん性軸索障害
3. 脳血管障害：くも膜下出血，脳内出血，脳梗塞，動脈瘤，動静脈奇形

●【 呼吸器 】深山 正久／平成20年6月10日(火)

目標：傷害に対する肺の基本的な反応様式について理解し，代表的疾患の病理像，組織分類について説明できる。

キーワード：

1. 肺，気管支の正常構造
2. 傷害に対する肺の反応様式，閉塞性・拘束性肺疾患，びまん性肺疾患
3. 疾患、病因別に見た病理形態像
A. 慢性閉塞性肺疾患 B. 肺炎 C. 間質性肺炎，肺線維症 D. びまん性肺疾患 E. 珪肺症，職業性肺疾患 F. 肺癌 G. その他の肺腫瘍 H. 胸膜中皮腫 I. 胸腺腫

●【 運動器 】宇於崎 宏／平成19年6月17日(火)

目標：骨・関節の炎症，骨折，代謝性骨疾患，骨腫瘍の機序・特徴・分類について説明できる。

キーワード：変形性関節症，リウマチ性関節疾患，特発性骨壊死症，骨髄炎，カリエス，冷膿瘍，痛風，ピロリン酸カルシウム結晶沈着症，仮骨，骨の加齢変化，骨粗鬆症，副甲状腺機能亢進症，骨軟化症，骨 Paget 病，骨肉腫，軟骨肉腫，Ewing 肉腫，骨巨細胞腫，骨軟骨腫，内軟骨腫，線維性骨異形成。

●【 肝臓 】 福里 利夫／平成20年6月24日（火）

目標：肝疾患の成り立ちを理解し、代表的な炎症性疾患および腫瘍の病理像を説明できる。

キーワード：

1. 肝の炎症性疾患とアルコール性肝障害：急性肝炎，劇症肝炎，慢性肝炎，肝硬変，原発性胆汁性肝硬変，硬化性胆管炎，非アルコール性脂肪性肝炎，アルコール性肝炎
2. 肝の腫瘍類似病変、良性腫瘍と悪性腫瘍：限局性結節性過形成，血管腫，肝血管筋脂肪腫，肝細胞癌，胆管細胞癌，転移性肝癌

●【 婦人科 】 高澤 豊／平成20年9月16日（火）

目標：婦人科疾患の理解の基礎となる組織発生，内分泌学についての知識を確認し，代表的な良性病変（感染症を含む）および腫瘍病理学について学ぶ。

1. 女性生殖器の発生，解剖，組織学
2. 婦人科内分泌の基礎
3. 婦人科腫瘍病理学各論
 - (a) 卵巣（子宮内膜症を含む）
 - (b) 子宮頸部（HPV感染，自然史，スクリーニング法）
 - (c) 子宮体部
 - (d) 膣・外陰部：
 - (e) 絨毛性疾患（疾患概念の変遷と分類）
4. その他（感染症，胎盤異常，等）

●【 小児 】 田中 文彦／平成20年9月30日（火）

目標：人生で最も劇的な胎児から新生児への移行期を学ぶことによって新生児期の疾患の概要を述べることができる。また奇形と腫瘍の関連を学ぶことによって遺伝子が形態に与える影響を述べることができる。

キーワード：

周産期疾患：奇形，奇形シークエンス(sequence)，隣接遺伝子症候群

小児腫瘍：先天異常と腫瘍の合併する症候群（ウィルムス腫瘍を中心として），遺伝子と形態の異常の関連について（網膜芽細胞腫）

●【 血液・リンパ節 】 太田 聡／平成20年10月7日（火）

リンパ節は種々の疾病の場となる。リンパ節病変に限らないことではあるが、本来の臓器としての機能、構築を基礎知識として理解した上に、種々の疾病のリンパ節での変化を捉えることが重要である。あわせて骨髄・脾臓病変の病理形態にも触れたい。

1. リンパ節病変
 - 1) リンパ節の構造と機能
 - 2) 炎症性・反応性リンパ節病変
 - 3) 悪性リンパ腫（病型分類の意義、補助診断法の基礎、低悪性度リンパ腫、高悪性度リンパ腫、ホジキンリンパ腫、免疫不全関連リンパ腫、その他）
 - 4) その他の腫瘍性病変

2. リンパ節以外の造血器病変

- 1) 骨髄（萎縮、腫瘍性病変など）
- 1) 脾臓（循環障害、炎症、腫瘍性病変など）

●【 軟部腫瘍 】 深山 正久／平成20年10月28日（火）

目標：軟部とは骨格を包む組織で、頭頸部、躯幹、四肢の外軟部組織、ならびに後腹膜、胸腔、腹腔などの内軟部組織を含んでいる。軟部組織に発生する多様な腫瘍、腫瘍様病変の病理について学ぶ。

キーワード：

1. 線維組織、脂肪組織、筋組織、血管組織、末梢神経に発生する腫瘍、腫瘍様病変
2. 滑膜肉腫など、由来の不明な腫瘍
3. 軟部腫瘍とキメラ遺伝子

●【 耳鼻科・食道 】 大橋 健一／平成20年11月4日（火）

鼻腔、咽頭、喉頭、唾液腺、食道を主に頭頸部に発生する腫瘍の分類、病理学的特徴について解説する。食道では食道癌の病理、診断、治療を中心に講義し、Barrett 食道、日和見感染症についても講義する。他には唾液腺腫瘍、上気道では Wegener's granulomatosis など特殊な炎症疾患、悪性リンパ腫についても解説する。

A. 食道の疾患

扁平上皮癌の病理像、診断、治療、Barrett 食道、腺癌、日和見感染症、炎症性疾患

B 鼻腔・咽頭・喉頭の疾患

扁平上皮癌、悪性リンパ腫、Wegener's granulomatosis

C. 唾液腺の疾患

多形腺腫、ワルチン腫瘍、腺様嚢胞癌、腺房細胞癌、粘表皮癌などの腫瘍性疾患、Sjogren 症候群に伴う唾液腺炎など特殊炎症

●【眼科領域】 小幡 博人／平成20年11月11日（火）

眼科領域の疾患を非腫瘍性疾患と腫瘍性疾患に大別し、臨床所見と病理組織像を対比しながら病態を考える力をつける。

I. 非腫瘍性疾患

眼瞼：霰粒腫

結膜：アレルギー性結膜炎（春季カタル）、翼状片

角膜：水疱性角膜症、角膜ヘルペス、角膜ジストロフィ、円錐角膜、感染性角膜潰瘍（細菌、真菌、アカントアメーバ）

網膜：糖尿病網膜症、加齢性黄斑変性、サイトメガロウイルス網膜炎

その他：交感性眼炎、水晶体過敏性眼内炎

II. 腫瘍性疾患

眼瞼の良性腫瘍：脂漏性角化症、母斑細胞性母斑

眼瞼の悪性腫瘍：基底細胞癌、脂腺癌

結膜の良性腫瘍：乳頭腫、母斑細胞性母斑

結膜の悪性腫瘍：MALT リンパ腫、扁平上皮癌

眼内腫瘍：網膜芽細胞腫、悪性黒色腫、眼内悪性リンパ腫、転移性眼内腫瘍

眼窩腫瘍：MALT リンパ腫

涙腺腫瘍：多形腺腫、腺様嚢胞癌、MALT リンパ腫

●【画像診断と病理】森 正也／平成20年11月18日（火）

近年急速に発展した画像診断であるが、これらの発展を質の面から支えているものに画像と病理像との詳細な比較検討が挙げられる。画像を読み、病理像（肉眼像、組織像）と比較する、この繰り返しのよって画像診断力が付くだけでなく、病像を総合的に理解できるようになる。

講義では、乳腺の疾患を例にとり、実際の症例の画像と病理像を供覧しながら、その病像について一緒に考えていきたい。

●【皮膚科】高澤 豊／平成20年11月25日（火）

目標：皮膚の構造や機能について復習し、基本的な病変を表現する用語を学んだうえで、代表的な皮膚疾患の病理組織像について学ぶ。

I. 皮膚の構造と機能

表皮（角化細胞，メラノサイト，ランゲルハンス細胞，メルケル細胞），真皮，皮膚付属器（毛包，皮脂腺，エクリン汗腺，アポクリン汗腺）

II. 皮膚病理学総論

A. 発疹学

(a) 原発疹（斑，丘疹，局面，結節，小水疱，水疱，膿疱，嚢腫，蕁麻疹）

(b) 続発疹（びらん，潰瘍，膿瘍，鱗屑，痂皮，胼胝，癬痕，萎縮）

(c) 症候群的な発疹名（湿疹，苔癬，苔癬化）

B. 組織学的変化

(a) 表皮（角質肥厚，有棘層肥厚，乳頭腫症，不全角化，異常角化，角化細胞壊死，海綿状態，液状変性，棘融解，水疱，微小膿瘍(Munro's, Pautrier's)，腫瘍

(b) 真皮（炎症細胞浸潤，色素失調症，血管炎，線維化，沈着症(石灰化，ムチン，アミロイドなど)，萎縮，腫瘍

(c) 皮下組織（炎症，壊死，腫瘍）

III. 皮膚病理学各論（代表的な疾患）

A. 炎症性疾患（湿疹，蕁麻疹，紅斑症，血管炎，水疱症，角化症，膠原病）

B. 腫瘍（母斑（症），上皮性皮膚腫瘍，癌前駆症，間葉系腫瘍）

●【泌尿器】太田 聡／平成20年12月2日（火）

泌尿器科で取り扱う炎症性疾患（腎以外）、腫瘍性病変の概念，病理，分類について説明できる。

腎腫瘍：腎細胞癌，腎芽腫，血管筋脂肪腫

尿路系：腎盂腎炎，水腎症，尿管結石，マラコプラキア，尿路上皮癌

前立腺：前立腺肥大症，前立腺癌

精巣：胚細胞腫瘍（セミノーマ，卵黄嚢腫瘍，胎児性癌，絨毛癌）

●【消化管】福嶋 敬宜／平成20年12月9日（火）

消化管（胃と腸）の代表的疾患の機序・病理形態学的特徴・分類を理解する。

A. 胃

1)正常構造, 2)胃炎, 3)潰瘍, 4)上皮性腫瘍(腺腫, 早期癌, 進行癌, カルチノイド), 5)非上皮性腫瘍(悪性リンパ腫, GIST など), 6)診断と治療

B. 腸

1)正常構造, 2)形成異常, 3)腸炎(虚血性, 感染性), 4)炎症性腸疾患(クローン病, 潰瘍性大腸炎), 5)上皮性腫瘍(腺腫, 癌), 6) ポリポース, 7)その他の腫瘍

● 【 胆・膵 】 福嶋 敬宜 / 平成21年1月13日 (火)

胆と膵の病理を理解するためにまず重要なことは, 病変の立体的な解剖学的位置関係を理解することである. また疾患は大まかに病態(先天異常, 内分泌・代謝異常, 炎症, 腫瘍など)ごとにまとめて理解できるように説明する.

A. 胆

- 1)先天性異常・形成異常: 先天性胆道拡張症, 膵管胆管合流異常症, 先天性胆道閉鎖症
- 2)内分泌・代謝異常: 胆石症, コレステローシス
- 3)炎症: 急性胆嚢・胆管炎, 慢性胆嚢炎, 硬化性胆管炎
- 4)腫瘍: 良性腫瘍, 悪性腫瘍

B. 膵

- 1)先天性異常・形成異常: 輪状膵, 分割膵, 異所性膵組織
- 2)内分泌・代謝異常: 膵萎縮, 脂肪浸潤, ヘモンデローシス, ヘモクロマトーシス
- 3)炎症: 急性膵炎, 慢性膵炎, 自己免疫性膵炎
- 4)腫瘍: 良性腫瘍・(良悪境界病変)・悪性腫瘍, 内分泌腫瘍・外分泌系腫瘍

◎【 M 2 系 統 病 理 学 実 習 】

19回にわたって、組織標本の観察を行い、場合によってスケッチを行う。スケッチはあくまで観察の記録であり、過度に写実的になる必要はない。木曜日の4-6時限。

◎【 循環器 】牛久 哲男／平成20年4月24日(木)

急性心筋梗塞, 陳旧性心筋梗塞, 冠動脈硬化、拡張型心筋症, 肥大型心筋症, 細菌性心内膜炎, 解離性大動脈瘤, 血栓性閉塞性動脈炎 (Buerger's disease)

◎【 腎臓 】仲矢 丈雄／平成20年5月15日(木)

正常腎, 出血性壊死性腎炎, 糖尿病性腎症, 半月体形成腎炎, ループス腎炎, 膜性腎症, アミロイドーシス, DIC

◎【 内分泌・代謝 】仲矢 丈雄／平成20年5月22日(木)

甲状腺濾胞腺腫, 甲状腺乳頭癌, 甲状腺未分化癌, 副甲状腺腺腫, 副甲状腺過形成, 下垂体腺腫, 副腎皮質腺腫, 副腎褐色細胞腫, 糖尿病性膵変化, 膵内分泌腫瘍

◎【 神経 】柴原 純二／平成20年5月29日(木)

正常脳, Alzheimer病, Pick病, 筋萎縮性側索硬化症, Parkinson病, 多系統萎縮症, Huntington病, 多発性硬化症, Creutzfeldt-Jakob病, Wernicke脳症, 脳動脈瘤/脳動脈静脈奇形

◎【 脳外科 】石川 俊平／平成20年6月5日(木)

毛様細胞性星細胞腫, びまん性星細胞腫, 退形成性星細胞腫, 膠芽腫、乏突起膠細胞腫, 脳室上衣腫, 中枢性神経細胞腫, 髓芽腫, 脈絡叢乳頭腫, 神経鞘腫, 髓膜腫

◎【 呼吸器 】石川 俊平／平成20年6月12日(木)

非腫瘍性疾患: 気管支喘息, びまん性汎細気管支炎, びまん性肺胞傷害, 蜂窩肺, カリニ肺炎, 粟粒結核, サイトメガロウイルス肺炎,
腫瘍性疾患: 肺癌 (扁平上皮癌, 腺癌, 小細胞癌), 悪性胸膜中皮腫, 胸腺腫

◎【 運動器 】牛久 哲男／平成20年6月19日(木)

骨・関節疾患: 骨組織, 慢性滑膜炎 (関節リウマチ性), 変形性関節症
骨腫瘍・腫瘍様病変: 線維性骨異形成、内軟骨腫、骨肉腫, 軟骨肉腫, 骨巨細胞腫

◎【 肝臓 】牛久 哲男／平成20年6月26日(木)

正常肝, 脂肪肝, ウイルス性肝炎・肝硬変, アルコール性肝硬変, 原発性胆汁性肝硬変, 原発性硬化性胆管炎、広範肝壊死 (劇症肝炎)、肝細胞癌、肝内胆管癌

◎【 婦人科 】日野 るみ／平成20年9月18日(木)

膣・子宮頸部: 尖圭コンジローマ, 異形成, 子宮頸癌 (CIS), 扁平上皮癌,

子宮体部：内膜過形成，異型過形成，内膜腺癌，腺筋症，癌肉腫，平滑筋腫，平滑筋肉腫

胎盤：流産，胞状奇胎，絨毛癌

卵巣：多嚢胞卵巣，子宮内膜症，粘液性嚢胞腺腫，粘液性嚢胞腺癌，漿液性嚢胞腺癌，顆粒膜細胞腫，成熟嚢胞性奇形腫

◎【 小児 】日野 るみ／平成20年10月2日（木）

網膜芽細胞腫，神経芽細胞腫，腎芽腫，横紋筋肉腫，未熟奇形腫，先天性胆道閉鎖症，Hirschsprung病（Congenital megacolon），脂質蓄積症，新生児肺硝子膜症（新生児呼吸窮迫症候群），胎盤（CMV感染症）

◎【 血液・リンパ節 】森川 鉄平／平成20年10月9日（木）

反応性濾胞過形成，（亜急性）組織球性壊死性リンパ節炎，ホジキンリンパ腫（混合細胞型，結節硬化型），濾胞性リンパ腫，びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫，パーキットリンパ腫，成人T細胞性白血病/リンパ腫，血管免疫芽球性リンパ腫

◎【 軟部腫瘍 】菊地 良直／平成20年10月30日（木）

脂肪腫，脂肪肉腫，線維肉腫，神経鞘腫，神経線維腫，悪性線維性組織球症，血管腫，結節性筋膜炎（腫瘍類似疾患），滑膜肉腫

◎【 耳鼻科・食道 】菊地 良直／平成20年11月6日（木）

鼻茸，喉頭癌，食道癌（扁平上皮癌），慢性中耳炎，慢性唾液腺炎（シェーグレン症候群），唾液腺多形腺腫，慢性甲状腺炎（橋本病），甲状腺濾胞腺腫，甲状腺乳頭癌，副甲状腺腺腫・過形成

◎【 眼科領域 】柴原 純二／平成20年11月13日（木）

霰粒腫，黄色板症皮脂腺癌，皮様腫，春季カタル，水疱性角膜症，ヘルペス角膜炎，格子状角膜ジストロフィー翼状片，悪性黒色腫

◎【 乳腺 】坂谷 貴司／平成20年11月20日（木）

乳腺の基本構造、乳腺症、異物肉芽腫、乳管内乳頭腫、非浸潤性乳管癌、浸潤癌（乳頭腺管癌、硬癌、粘液癌、小葉癌）、線維腺腫、葉状腫瘍、Paget病、女性化乳房

◎【 皮膚科 】森川 鉄平／平成20年11月27日（木）

扁平苔癬，尋常性乾癬，類天疱瘡，尋常性疣贅，脂漏性角化症，母斑細胞性母斑，悪性黒色腫，基底細胞癌，皮膚パジェット病，扁平上皮癌

◎【 泌尿器 】森川 鉄平／平成20年12月4日（木）

腎：腎細胞癌（淡明細胞癌），血管筋脂肪腫

辜丸：セミノーマ（精上皮腫），胎児性癌，絨毛癌

膀胱・尿管：尿路上皮癌

前立腺：腺癌（高分化型，低分化型）

◎【 消化管 】坂谷 貴司／平成20年12月11日（木）

胃：正常構造、腸上皮化生、胃炎(ヘリコバクター・ピロリ菌)、潰瘍、腺腫、癌(腺癌、印環細胞癌)、
GIST

腸管：正常構造、感染性腸炎、虫垂炎、過形成性ポリープ、大腸ポリポーシス

大腸腺腫、大腸癌(中分化型管状腺癌)、カルチノイド、潰瘍性大腸炎、クローン病、偽膜性大腸炎

◎【 胆・膵 】坂谷 貴司／平成21年1月15日（木）

胆嚢：正常構造、慢性胆嚢炎、コレステロールポリープ、胆嚢癌

膵臓：正常構造、急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、浸潤性膵癌、膵管内乳頭状粘液性腫瘍